

— 郷土にロマンを創造する —  
株式会社 サン土木コンサルタント



所在地：〒780-0066 高知県高知市比島町4丁目6番33号  
TEL：088-824-1462  
FAX：088-824-1461  
URL：http://san-d.co.jp  
従業員：36名  
創立：昭和47年11月  
代表者：代表取締役 公文 高志



サッカー大会



ロードボランティア表彰式



清掃活動



年始集合写真



本社社屋



JR土讃線高架側道



安田町 安田川橋



橋梁点検



ほすはらちょう 橋原町 国道440号



仁淀川町 国道439号



仁淀川町 桜線



中土佐町 避難路



津野町 馬関橋



社員旅行

はじめに

弊社は、昭和47年11月の創立以来「郷土にロマンを創造する」という社訓を合い言葉に、測量、土木設計、建築設計、補償業務を通じて地域社会に密着し貢献することを目的として高知県を中心に事業を行っております。

創業時は、創業者が橋梁メーカーに勤務していた経験を生かして主に橋梁とそれに付随する構造物に関する測量、設計を行っておりました。現在では、道路、橋梁設計業務を主体に、調査、設計、測量、補償調査等を手掛けております。さらに、社会インフラの老朽化に対応するために橋梁、道路構造物、トンネル等の点検、調査、補修・補強設計に積極的に取り組んでおります。

経営理念

高知県に本社を置く建設コンサルタントとして、地域社会に愛されて、地域社会に貢献し、地域社会の生活を守ることを使命と考えております。また、企業を継続するためには利益を確保することが必要不可欠とも考えています。このような思いから、弊社では、創業当初か

ら利益を確保し、それを社員や社会に還元するという経営理念を持っています。

その為には、技術者集団として提案力や技術力による業務の品質向上に努めると共に人間としての思いやりが不可欠であると考えています。

弊社は、「技術者である前に人間であれ」という基本理念を持ち続け、今後も高い技術力と人間としての豊かさや魅力を備えた技術者集団であり続けたいと思っています。

社名の由来

社名であるサンをアルファベット表記にすると「SAN」となり、太陽を意味する「SUN」ではありません。これには、創業者である弊社の会長の思いが込められています。

創業当時、高知ではサンフラワーというフェリーに人気があったことや前職の社長からのアドバイスもあり、さらに本人が数字の3、栈橋の棧、蚕等の言葉が好きであったことから社名に「サン(SAN)」を使用する事を決定しました。サン(SAN)という言葉には、外国では

聖人、神聖所という意味があり、聖なる地という意味を含め「SAN」と名付けられました。

社内チームワークについて

少人数の会社であるため、業務の円滑化には社内コミュニケーションを充実し、チームワークを高めることが重要であると考えています。弊社では、令和2年は新型コロナ禍のため実施できませんでしたが、それまでは毎年社内旅行を行っていました。この旅行は、「これが楽しみで1年間頑張ってきました」と言ってくれる社員がいるほど大騒ぎをし、大盛り上がりをする一大イベントであります。また、社内でサッカーチームを結成し職場対抗の大会に参加するなど業務以外でもチームワークを高めています。

社会貢献活動

弊社の社会貢献活動として平成21年4月より、会社周辺道路と県道の清掃活動を月に1回、原則第3月曜日の早朝に実施しております。地元にも本社を置く企業として少しでも地域に貢献することが出来るように始めた活

動には、毎回多くの社員が参加しております。開始から12年目を迎えた令和2年3月に道路管理者である高知土木事務所から感謝状を賜りました。

創立50周年に向けて

建設コンサルタント業界を取り巻く社会環境には、働き方改革、担い手不足など従来からの課題がありますが、現在は、新型コロナウイルス感染拡大という大きな課題があります。感染拡大防止と経済活動の維持という悩ましいトレードオフの問題に対して、世界中が知恵を出しあっています。この文章が掲載される頃には、ワクチンが劇的に効果を発揮し、従前の社会環境に少しでも戻っていることを願っております。

このような先の見えない不透明な時代において、弊社は令和4年11月に創立50周年を迎えます。今後も日々変化していく時代の要請に応えることが出来るように社員一丸となり、高知県に本社を置く企業として地域に根ざし、地域社会の生活を守ることを使命と考え、努力を続けていく所存です。

(文：代表取締役 公文 高志)